

かいご 介護だより

5月号NO. 232号

発行日 2019年5月1日
発行所 (有)介護福太郎
発行責任者 代表取締役 内海好一
会津若松市中央二丁目1-21
TEL 0242-37-2166 FAX 0242-85-7021
Eメール fukutaro@basil.ocn.ne.jp

「五泉市 / 水芭蕉公園」



「花見の宴」 喜多方・蔵の湯

今回で第5回となる、介護だよりに掲載を頂いております皆様と「花見の宴」を、去る4月13日（土）に喜多方市の蔵の湯にて開催致しました。

春の兆しを感じる穏やかな日でしたが、ただ一つ残念なことに、桜はようやく蕾が膨らみ始めたばかりでした。



かりでした。参加者の皆様と事務局合わせて14名、1年ぶりでお会いする方や今回初めて参加された方と、終始和やかな時を過ごすことが出来ました。花見の宴の席で参加者の皆様に俳句、短歌を詠んでいただきました。

俳句

いつ時に花開きしか桜ばな

野邊 学

ひと年を元気でつどふ花辛夷

鈴木 隆一郎

一二三よつ開花賑わう蔵の里

中川 幸恵

花あしび新年号の令和成る

詩人の集ひて楽し花筵

卒寿にて令和元年花見とや

初つばめ出入せわしき蔵の軒

松 みどり

令和聴きし梅咲き出し紅と白

昼麦酒桜色染むばばのほほ

Y 子

短歌

晴天の喜多の郷へと招かれて

つばみふくらむ花のくれない

懐しきいろりを囲みビンゴゲーム

どきどきわくわくビンゴにはく手

認知症予防に

「ボケない小唄」

- 一、なにもしないで ボンヤリとテレビばかりを 見ていると のんきなようでも 年をとり 十年早く ボケますよー
- 二、仲間はずれで ただ一人 何もやること ない人は 夢も希望も 逃げて行く 年をとらずに ボケますよー
- 三、酒もたばこも 飲まないで 唄も踊りも やらないで 人のアラなど さがす人 他人の三倍 ボケますよー

川島 英雄

この小唄は歌詞が六番までありますが、今回三番までご紹介致します。 「お座敷小唄」の節で、大きな声で歌ってみて下さい。そのことにより、美容や健康、心にも体にも良いそうです。

「在宅介護の支えに感謝」

介護の仕事に携わり早20年が経とうとしています。同居の義父が5年ほど前から認知症を患い、義母と共に介護に費やす時間が徐々に長くなってきた昨今でした。仕事と身内の介護は違う難しさをひしひしと感じながら、サービスを利用したいと思っても本人がその気にならず、サービスを受けるまでに約2年。本人の性格もありますが、サービスを提供する側の思いと受ける側の思いの違いも身をもって感じた日々でした。ようやくサービスを利用できるようなり、ケアマネさんやサービス事業所の皆さん、関わるすべての方々にはいつも頭の下がる思いでした。改めて介護の仕事の尊さと、家族だけでは到底乗り越えられなかったであろう在宅介護を支えて下さるのほまさに、お一人お一人の心ある対応であったことを深く感じます。家族ではできないことを支援していただき、またサービスではできないことを家族が行うことで、義父を支えることができた本当に感謝しています。

満面の笑みで「○○さん。おはようございます！」と元気で明るい職員さんからの挨拶に、家ではなかなか見ることができない笑顔を見せました。こちらまで笑顔になりました。そんな皆様の温かい支援をいただきながら、この3月、入院先の病院で義父は息を引き取りました。退院する予定だった朝に、穏やかな最期でした。心残りはないといえば嘘になりませんが、その都度、悩み、話し合い、「今できる事」を考え、行ってきたことに後悔はないと思うようにしています。そして何より素晴らしいのは、義父の身体状況を受け入れ、最期まで義父の尊厳を守り抜いた義母の姿でした。素晴らしい夫婦のあり方を見せてもらいました。私自身も、たくさんの方々に支えられ義父を看取ることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。今後、支える人の支えになることの大切さをも胸に刻み精進してまいります。

匿名



福太郎介護タクシー

お出かけの
お手伝いします

・通院・買物・その他お出かけの際にお気軽にご相談下さい
(ドライバーがお買物に同行致します)



申込、問合せ TEL0242-85-7031 (予約制)

「会津藩・皇師きたら…」

・病院と牛肉（戊辰戦争）

前月号から続く



上野の山を立ち退いた輪王寺の宮が若松城に入ったときは、鶴ヶ城の追手門に紅白の幔幕を張り、地域民たちは毎日拝顔で賑わったといわれている。諸侯や旧幕の要人たちは市中の寺に泊り城中会議が行われたが、時々、白虎隊も参加するれん調練を三の丸で見学したりしていた。小田垣の内堀は魚類が多く投網や釣りを楽しむのどかな風景も見られた。

◆ 病院と牛肉

戦争景気は会津城下を雑踏の町にした。諸侯や旧幕の要人についてきた家来や旧幕府の脱走兵や水戸の浪人はじめ、芝居や相撲小屋が乗り込んで賑わった。なかでも脱走兵は行儀が悪く、刀を差したり無刀だったり全裸で歩いたり同じ軍人でも

「日橋川の流れ」

前月号から続く

恵日寺の高僧徳一が勝常寺を始め、会津の各地に寺院を建て、越後にまでも勢力を伸ばしたことも堂島橋を渡り通ったものと考えられる。さらに下流には右岸に狐堰があり、現在では東京電力金川発電所が堰の取り入れ口を利用してある。またその下流左岸の島村と右岸の金川村の間に

「川がもたらす地域への貢献」

上流から水力を利用した発電所が数多く設置されている。現在では全てが東京電力の施設になっている。上流左岸の猪苗代第一発電所、下流に第二・第三・日橋川発電所があり、その下流には隧道で川を横断し右岸の第四発電所となり、猪苗代第二発電所

は米沢上街道の渡し場があった。さらに下流には左岸に浜崎城、右岸に三橋城があった。猪苗代湖から発したこの川は、磐梯町・河東町を経て塩川町貝沼付近に入り、会津坂下町立川付近で大川（阿賀川）と合流し、喜多方市慶徳町・山都町・西会津町を経て新潟県に至り、阿賀野川となって日本海に注いでいる。この川の流れが近郷の現代社会に及ぼす恩恵は偉大なものがある。

吉田 幸作

俳句 北山百合俳句会

クラクションに流し目でゆく恋猫よ さくらさくら草野心平口遊ぶ 中川 幸恵
切り干しの乾く日和となりけり 鈴木 隆一郎
万愚節誰も騙せず終りけり 佐藤 信子
武藤 敏子



作「野邊 学」

短歌

ひとひらもいぼさぬ 今日の花見かな 松 みどり
手入れせぬ短き丈のチューリップ それでも小さきつぼみをつけて 阿久津 カネイ
音高く近くに寄りて観入るなり 三十年の平成終る 小林 深雪
寒い朝グググクツク空からの音 白鳥の群れ西へ消えゆく 小林 千恵
淋しい鳴き声耳にのこりおりて

川柳 川島 英雄

新しく入所せし人の面やつれ 見覚えありと見るに目の合う 鈴木 キミコ
ふるさとの学舎のさくら老木と なりてしだれて風に揺れをり 五ノ井 星子
だいたい色のあかり下に娘と孫と 三人（みたり）の猫とあくび 坂内 久美子

絵てがみ



作「渡邊 鶴子」

私たち社員一同で 真心を込めたサービスと 感動を提供します。 福祉用具レンタル・販売・メンテナンス プライムケアイースト株式会社 http://www.pc-east.com

ENEOS 燃料油のご用命は当社にまかせください！ JXTGエネルギー(株)特約店 株式会社 栗林商店 代表取締役社長 栗林 陽志 〒965-0042 会津若松市大町二丁目5-8 TEL 0242-22-3930 FAX 0242-22-2335

車のことなら何でもおまかせください 有限会社 大島ボティ 〒965-0080 福島県会津若松市神指町橋本59番地 TEL0242-24-7585 FAX0242-32-0775

厚生省生衛第134号 全国介護環境整備協同組合 株式会社 アンミン 〒992-1125 山形県米沢市万世町片子5152 TEL0238-21-4340 FAX0238-24-0166